

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	2	地域資源を活かした「産業のしま」
政 策	2	農林業の振興
基本方針	安心・安全で付加価値の高い農産物を地域で生産し、地域で消費する体制を確立するとともに、耕作放棄地の復元や合理的活用を図り、持続的な農業の振興に取り組みます。また、林業については、林業基盤の整備や森林のもつ公益的機能の維持・確保に努めます。	

基本施策	2-2-①	農業従事者の育成・確保
主管課名	農林課	所属長名 下 山 透
関係課名		
1 次評価	基本施策の評価	
	<p>○定年退職者やU・Iターン者等を中心に多種多様な人々を農業後継者と位置付け、意欲ある人材の掘り起こし</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖肉用牛経営希望者に対し、国・県などの畜産振興の情報提供を行った。また、1名を認定農業者として認定し、2名の認定農業者の更新を行った。さらに野菜講習会を開催し、農業後継者の育成を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者として1名認定することができた。今後も毎年度1名ずつを目標に担い手の確保に取り組んでいく。また、本町で繁殖肉用牛経営が持続的な経営となるよう、関係機関と連携しながら支援をしていく。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き野菜講習会等を実施していき、販売農家が増加するよう努める。また、就農相談会などを開催し、新規で農業を始めたい人には、国・県などの情報等の提供を行い、五島振興局・JA・町と連携していく。 	
	<p>○JA、生産組織、地域、行政が一体となった担い手の育成・確保</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組織が実施する新商品の開発・研究等の会議開催等活動に助成することにより、地場野菜等の生産拡大と地域内供給の促進を図った。また、消費者と生産組織の交流を促進し、地域の活性化と生産組織の強化を図った。今年度は新たに地域産業の重要な担い手である直売所や加工グループとモデル集落（網上地区）が参加した連携組織である「上五島農山村活性化協議会」の活動助成を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA・五島振興局などの関係機関と連携し、農業振興に取り組むことができた。今後は畑などで野菜講習会を開催し、実践的な内容としていく。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA・五島振興局などと連携し、野菜講習会や就農相談会などを開催し、販売農家が増加するような取組に努めていく。 	
2 次評価	<p>継続的な担い手や地域リーダーとしての育成に向けて、国、県の事業を活用し、地域や関係団体等と連携した技術や労力のサポート体制の充実を図り、新たな担い手の育成や遊休農地、施設の解消を促進していくこと。</p>	

基本施策	2-2-②	農地の保全・有効利用と生産性の向上	
主管課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	○遊休地及び耕作放棄地を解消する意欲のある農業者の活動支援、新規就農者及び中心農業者への利用集積による支援推進 ■平成27年度の取組概要 ・ 荒廃農地復元対策事業により復元農地への作付拡大を推進し、生産意欲の向上を図り、57.82 aの荒廃農地を解消した。 ■評価（問題点とその要因） ・ 網上地区（5.32 a）、今里地区（52.5 a）において、荒廃農地の復元が図られたが、町内で広大な農地の確保が難しく、意欲ある担い手の確保が難しい。 ■今後の取組方針 ・ 荒廃農地復元対策事業により復元農地への作付拡大に支障がないように、予算要求の際には、農家等の意向が反映されるよう努める。また、農地利用集積計画の申出書の提出があった場合は、農業委員会と連携しながら、農地の集積を図っていく。		
	○農地中間管理機構を活用した新規有望作物の調査、研究による農業の生産性向上推進 ■平成27年度の取組概要 ・ 農地中間管理機構の借受者の公募（年4回）及び講習会等の際に制度説明を行った。 ■評価（問題点とその要因） ・ 農地中間管理機構の借受希望の申込みは2件あったが、未相続農地などの問題により、成立するまでには至らなかった。 ■今後の取組方針 ・ 農地中間管理機構の活用については、未相続農地などの問題により、なかなか利用が出来ない状況であるため、機構を利用できるような土地については、農業委員会と連携していく。		
	○農地利用が困難な土地に対し、つばき植栽等の推進及び畜産用の野草地利用などの農地保全と有効利用 ■平成27年度の取組概要 ・ チャレンジ放牧推進事業において、耕作放棄地周辺の耕地を利用し、耕作放棄地と一体的に放牧利用する農業者の放牧場整備にかかる初期費用の軽減を図った。 ■評価（問題点とその要因） ・ チャレンジ放牧推進事業により、農地の保全と有効利用が図られたものの、農業従事者の高齢化等により荒廃農地まで手がまわらないのが現状である。 ■今後の取組方針 ・ 引き続き、畜産農家等へ聞き取りを行い、有効活用にどのような取り組みが必要か協議を行っていく。		
	○直売所や給食センターへの地場産野菜の供給など地産地消の推進、新規会員の加入促進等による消費者との交流を通じた地域活性化を図る団体組織強化 ■平成27年度の取組概要 ・ 農林水産物青方直売所（メル・カピィあおかた）、農産物奈良尾加工所、農林水産物魚目直売所（番嶽ふれあい市場）、農産加工場（つわ加工所）、ゆがきカンコロ福見低温冷凍庫、かんしょ貯蔵施設の施設管理を行い、地産地消の推進に努めた。また、給食センターと地場産野菜の供給にむけた協議を年2回開催した。 ■評価（問題点とその要因） ・ 農産物直売所については、町内の農林水産物の地産地消の拠点となっており、今後はさらに販売額の向上につながる取組を進めていく必要がある。学校給食への地場産野菜の供給については、数量確保が不安定であることや、地場産農産物の種類が少ないことなど、農産物調達に課題がある。 ■今後の取組方針 ・ 農産物直売所については、新規会員数を増加させ販売額の向上に努めていく。学校給食への地場産野菜の供給については、今後も引き続き、地場産農産物使用にむけて関係機関等と協議を行っていく。		

	<p>○栽培技術の普及のための講習会開催、販売用作物の施設化、土づくり対策、病虫害防除等による品質の向上</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売用作物の施設化や土づくり対策等による品質向上、農家の増収を図ることを目的とし、施設整備に対して支援を行い、農家の栽培意欲、技術向上を図り、販売農家育成につながった。また、各地区において野菜講習会等の開催した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業就業者の高齢化に伴う就業人口や農家戸数の減少が加速化する中、継続した支援が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <p>引き続き、野菜講習会等を開催し、農業経営意欲の高い新規農業者の掘り起しと育成を行うとともに、農家の栽培意欲、技術向上を図り、販売農家の増加に努めていく。</p>
	<p>○農道・耕作道の農業用施設の維持管理</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農道の草刈等を実施し、農道における交通安全確保及び適正な維持管理に努めた。（農道草刈業務委託：5路線、農道修繕：6路線） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化により、側溝・道路舗装・路側擁壁・法面等の劣化が進行している。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化により早急な対策が必要ではあるが、必要度の高いものから整備を行い、適切に維持管理に努めていく。
	<p>○歴史や文化などを取り入れた体験の充実、事業実施主体の活動に対する支援・指導による島外住民との交流推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの体験受け入れ団体である「五島列島B&B」に対し必要な情報の提供を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供だけでなく、実践者の方々との連携を深め、組織・体制作りを支援し、人材育成、各種情報提供などを行っていく必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もより地域に密着した活動にしていくため、様々な形で情報提供や支援を行い、現場の方々の意見を反映させながらグリーン・ツーリズムの推進を図っていく。
2次評価	<p>農業者の所得が向上し安定した経営を図っていくためには、地域環境や営農状況、取り組みの実態等に応じたきめ細かい指導、助言等の支援を適切に行っていくことが必要であることから、国、県の事業を活用しながら小面積でも可能な地域の特性にあった安全、安心で付加価値の高い農産物を生産し、持続可能な営農体制の確立に向け、JA、生産組織等と連携して、農産物の生産振興の強化、農地の有効利活用に努めていくこと。</p>

基本施策	2-2-③	有害鳥獣対策の強化	
主管課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○ノシシ、シカによる農作物の被害の防止、農業者の生産意欲の向上と経営の安定化（緩衝地帯整備等による棲み分け対策、ワイヤーメッシュ柵等の設置による防護対策、狩猟免許取得者に対する支援、報奨金制度等による捕獲対策の3対策を総合的に実施）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣駆除者に対して捕獲報奨金を交付し、有害鳥獣（イノシシ1,257頭・シカ3,718頭）を捕獲、有害鳥獣被害防止において、電気牧柵（3件）及び、ワイヤーメッシュ柵（69件）設置者に対して補助を行い、農作物被害の軽減を図った。また、有害鳥獣駆除に係る狩猟登録経費を7名、免許取得者5名に対し補助を行い有害鳥獣駆除者の育成に寄与した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲対策と防護対策により、農作物の被害が軽減した。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、有害鳥獣対策事業を推進していくことにより、農作物の被害軽減を図っていく。 		
2次評価	<p>○有効利用施設を運営する指定管理者に対する支援による有効利用の促進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣有効利用施設の指定管理者に対し、施設の維持管理費用分の助成を行い、島内外へイノシシ肉を販売することにより、有効利用を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者への助成は続けているものの、毎年イノシシの捕獲数に波があり、また冬場を中心とした加工処理に限定されるため、肉の安定的な有効利用が難しい。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度末で施設の指定期間が終了することから、事前に指定管理者の公募を行い、今後も指定管理者に支援をしながら有効利用の促進を図る。 		
	<p>1次評価のとおりとする。今後も引き続き、有害鳥獣による農作物の被害を防止し、生産意欲の向上と経営の安定化を図り、被害防止策の強化に向け、地域、関係団体と効果的な対策を進めていくこと。</p>		

基本施策	2-2-④	畜産の振興	
主管課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○高能力繁殖雌牛群の整備、飼育管理技術の高度化による付加価値の高い肉用牛増産の推進、収益性の高い肉用牛経営の確立</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高価格の子牛の生産を図るため、優良雌牛の導入に対して自家保留2頭（町単独）、農協等有導入事業3頭（県補助制度）の補助を行い、畜産農家の経営安定に寄与した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家保留、農協等有導入事業により、優良雌牛の導入がなされ、高価格の子牛の生産体制を構築できた。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の繁殖雌牛の能力を向上させ、資質が高い子牛の生産を推進する。 		
	<p>○耕作放棄地・野草地の活用、放牧地の拡大、食品製造残渣（うどん等）の有効活用支援、自給飼料の増産による低コスト生産推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ放牧推進事業において、耕作放棄地周辺の耕地を利用し、71アールの放牧地の拡大を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地を活用した放牧地の拡大が図られた。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放牧の実施を含めた飼料基盤の拡大を図るため、草地、野草地、耕作放棄地等の活用を行っていくため、関係者等と連携して取り組んでいく。 		
	<p>○畜産経営の安定と安全・安心な畜産物生産の推進（農場における飼養衛生管理対策強化による、家畜疾病の損耗防止と家畜伝染病の発生防止）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜防疫対策事業により、家畜の予防注射に対して8農家に助成を行い、家畜伝染性疾患の予防に努めた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種により、家畜伝染性の疾患を予防でき、目的を達成できている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産振興を図る上で、家畜伝染性の疾患を予防は重要事項であり、今後も引き続き、家畜の予防注射に対して助成を行う。 		
	<p>○肉用牛生産基盤の拡大推進（新規就農者の確保、既存経営体の規模拡大支援）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛導入事業や放牧推進事業により、3戸の農家が肉用牛繁殖経営に新規参入した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料生産や飼養管理技術の改善による生産性の向上や、共同化・分業化を行う支援組織の育成など特性を生かしながら、経営感覚に優れた経営体の育成を柱とした肉用牛振興を図る必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ながさき肉用牛振興計画に基づき、県と連携して、畜産クラスター構築事業等により肉用牛生産基盤の拡大を図っていく。 		
2次評価	<p>畜産農家のさらなる経営基盤を強化していくため、生産者が安定的な供給を行えるよう、JAと連携を図りながら、飼養管理の低コスト化、省力化の推進、休耕地等の有効活用、流通対策など、引き続き支援を継続し、経営の安定化に努めていくこと。</p>		

基本施策	2-2-⑤	林業の環境整備と森林の保全	
主管課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○林業後継者の育成及び確保（森林組合の組織強化や林業事業体の新規参入促進、林業構造改革、新規林業事業の拡大）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業組織の育成をするため、林業従事者（担い手）の社会保険等の負担を助成し、安定的な雇用に寄与した。（ながさき森林づくり担い手対策事業補助金：五島森林組合 11名） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業従事者の高齢化が進んでいるため、早期の新規雇用者の確保が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業担い手の安定的な雇用をするため、今後も引き続き、林業組織の育成をするため支援を行っていく。 		
	<p>○各種補助事業を活用した計画的な間伐推進、高性能林業機械導入による作業コスト削減</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者への間伐や作業道の開設にかかる説明等を実施し、林業振興の推進を図った。（利用間伐7.63ha、切捨間伐8.9ha） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注時期の集中から、請負業者の確保が難しいことがある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五島森林組合を中心とした、林業事業体と連携し、早期発注など効率的な間伐を実施する。 		
	<p>○地元材普及のための関連施設整備、林地残材や製材端材等を利用したバイオマス事業推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域材の安定的・効率的な供給体制を構築していくため、林地残材等の有効な販売方法や販売先の調査を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山からの搬出や輸送にかかるコストなど、木材を搬出するための施業体制の確立や販売方法など、効率化を図れるかが課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、木材を搬出するための施業体制の確立、少しでも有利な販売方法、販売先などの検討を行い、供給体制の構築を行っていく。 		
	<p>○森林の持つ多様な公益的機能の増進、水産資源に対する環境保全を目的とした保安林等の整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害防除として、マツノザイセンチュウから松林を守るため、年1回薬剤散布と樹幹注入を行った。また、保安林内の支障木伐採を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害防除については、枯死した松はほとんどなく、景観維、機能維持が図られた。保安林内の支障木伐採については、急傾斜地であったり雑木が大木化するなどの理由により伐採作業が困難な状況である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安林内の支障木伐採については、緊急を要する箇所から優先的に整備していく。 		

	<p>○効率的な林業経営、高性能林業機械の活用に向けた林道網の計画的整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者に対する山の保全管理活動支援として、森林整備地域支援交付金を五島森林組合、長崎県林業公社に交付し、作業道1,865m（利用間伐区域）を開設した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備には経営計画の策定が必要であるが、民有林については名義変更ができていないなどの理由で計画の策定自体が難しい。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町森林経営計画に基づき、効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮できるよう努めていく。
	<p>○自生椿林の適正な施業、耕作放棄地等への苗の植栽による活用可能な椿林拡大、椿の島をアピールする「つばき里山まつり」の開催</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばきを中心とする林業を体験させるためにH28.2.6に「つばき里山まつり」を開催し、「椿の育成について」の講話が行い、また、林業経営相談や資生堂(株)によるネイルアート体験、各種団体等による物販、俳句や短歌、絵画、写真等の展示、シイタケ種駒打ちや炭焼きなどの各種体験を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの創出と地域間交流、町民の林業に対する理解を深めてもらうことができた。開催中に体調を崩した来場者がいたため、そのような自体にも対応できる体制（看護師の配置など）が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.3に開催する「第28回全国椿サミット上五島大会」にむけて、今年度より更に充実したつばき里山まつりを開催する。
2次評価	<p>生産コスト削減のため林業者への地域活動支援交付金による支援や林業労働力を安定的に確保していくながさき森林づくり担い手対策事業など、森林資源の適正な管理、生産性向上、森林の公益的機能を高度に発揮させるため、適切な維持管理、継続した支援を行っていくこと。また、将来を見据えた林業経営を実現するための基盤整備になる支援策等を検討していくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
直売所新規会員数	目標	-	-	-	-	-	170人
	実績	86人	91人	-	-	-	-
	達成率	-	5.9% (29.5%)	-	-	-	-
耕地面積	目標	-	-	-	-	-	229ha
	実績	209ha	219ha	-	-	-	-
	達成率	-	50% (100%)	-	-	-	-
有害鳥獣捕獲延べ頭数	目標	-	-	-	-	-	25,000頭
	実績	9,430頭	26,631頭	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
繁殖雌牛頭数	目標	-	-	-	-	-	226頭
	実績	91頭	94頭	-	-	-	-
	達成率	-	2.2% (11%)	-	-	-	-
利用間伐面積	目標	-	-	-	-	-	100ha
	実績	15ha	34.12ha	-	-	-	-
	達成率	-	22.5% (100%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

2-2-① 農業従事者の育成・確保

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 農業者戸別所得補償制度推進補助事業 【農林課】 (事業目的) 米の生産数量を調整する。 (事業概要) 米の作付面積から自家消費の10aを控除した面積に対して、10a当たり7,500円を国の直接支払交付金として助成した。	実施年度	平成21年度～		
		成果指標	水稻作付面積 (a)		
		目標値	581.7a		
		実績値	581.7a		
		達成率	100%		
		決算(見込)額	200千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	水稻作付計画面積(a)を目標値として設定した。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 総会、現地確認を行い、作付面積581.7aとなった。 (成果・課題等) 米の作付計画面積581.7aに対して実績は581.7aであり、生産量の調整が図られた。	(取組実績) (成果・課題等)	

2-2-② 農地の保全・有効利用と生産性の向上

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 作付拡大対策補助事業 【農林課】 (事業目的) 荒廃農地復元に係る経費を助成することで、荒廃農地解消を促進し、農業振興を図る。 (事業概要) 荒廃農地を復元した場合、1アール1万円の助成を行う。	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	耕地面積		
		目標値	10ha		
		実績値	0.58ha		
		達成率	0.58%		
		決算(見込)額	579千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、耕地面積を219ha(H26)から5年間で229haに拡大することとしており、目標増加数を10haとしている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 荒廃農地復元に伴い、実施前、実施後の確認を行い57.82aが解消された。 (成果・課題等) 意欲ある担い手の育成に取り組み、復元農地への作付拡大を図っていく。	(取組実績) (成果・課題等)	

2-2-② 農地の保全・有効利用と生産性の向上（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	(事業名) 近代化施設整備補助事業 【農林課】 (事業目的) 販売用作物の施設化や土づくり対策等による品質向上、農家の増収を図る。 (事業概要) ①ハウスの新設：1/2以内 ②ハウスビニール張替え：1/2以内 ③防虫網の設置（10m以上）：1/2以内 ④トンネル支柱（10本以上）：1/2以内 ⑤堆肥：1/2以内 ⑥管理機購入：1/2以内（上限75,000円） ⑦塩水処理コンテナ、結束機（青果用つわに限る）：1/2以内 ⑧貯蔵庫（県等の補助事業で共同利用に限る）：補助残の1/3以内	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	販売農家数（戸）	
		目標値	434戸	434戸
		実績値	59戸	
		達成率	13.4%	
		決算（見込）額	2,010千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	目標販売農家数（戸）目標値として設定した。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	ハウス新設：2棟、ハウスビニール張替え：11棟、防虫網：100m、トンネル支柱：100本、管理機：3台、堆肥：16,147袋	(取組実績)	
	(成果・課題等)	施設整備に対する助成が農家の増収に寄与することから、今後も助成を行い、販売用作物の施設化や土づくり対策等による品質向上が必要である。	(成果・課題等)	
3	(事業名) 農産物出荷奨励補助事業 【農林課】 (事業目的) 共同販売を目的とする主要農作物の出荷に要する経費の一部を助成することにより、出荷農家の生産意欲の向上を図る。 (事業概要) いんげん：20円/kg、青果用つわ：150円/kg、湯がきカンコロ：50円/kg	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	出荷量（kg）	
		目標値	4,200.0kg	
		実績値	4,755.8kg	
		達成率	113.2%	
		決算（見込）額	536千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	出荷量計画（kg）を目標値として設定した。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	いんげん：525.6kg 青果用つわ：3,130.2kg 湯がきカンコロ：1,100kg	(取組実績)	
	(成果・課題等)	農産物出荷経費の一部助成により、生産意欲の向上が図られた。	(成果・課題等)	

2-2-② 農地の保全・有効利用と生産性の向上（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	<p>(事業名) 生産組織活動助成補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 地場野菜や農産加工品等の地域内供給を促進し、消費者との交流を通じ地域の活性化を図る組織強化を目的とする。</p> <p>(事業概要) 地産地消や特産品の開発などを推進し、地域活性化を図る組織に対して定額を助成する。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	組織会員数	
		目標値	142人	
		実績値	122人	
		達成率	85.9%	
		決算（見込）額	539千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	前年度の組織会員数を維持することを目標としている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>6団体に対して活動助成を行った。 ・花野果農産加工グループ：40千円 ・番嶽ふれあい市場出荷組合：160千円 ・JA有川朝市研究会：80千円 ・JA上五島農産加工部：40千円 ・JA女性部有川支部：120千円 ・農山村活性化協議会：99千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>普及方法などは各団体へまかせているが、なかなか会員の拡大に繋がっていない。昨年度同様、企業等を退職したばかりの元気な世代等を積極的に取り組めるよう、指導・助言を行っていく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-2-③ 有害鳥獣対策の強化

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 有害鳥獣防除奨励事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 有害鳥獣から農作物被害をなくすため、捕獲した者に報奨金を交付し、有害鳥獣の頭数の削減を図る。</p> <p>(事業概要) 有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、有害鳥獣駆除者に対して捕獲報奨金を交付する事業。 【奨励報奨金】 銃器で捕獲の場合 イノシシ11,000円/頭、鹿10,000円/頭 捕獲器（わなを含む）で捕獲の場合 イノシシ10,000円/頭、鹿9,000円/頭 幼獣は、一律3,000円を減額</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	捕獲頭数	
		目標値	1,500頭	
		実績値	4,975頭	
		達成率	331%	
		決算（見込）額	46,594千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	捕獲目標を1,500頭と設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>イノシシ捕獲1,257頭 シカ捕獲3,718頭 計4,975頭が捕獲された。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>捕獲目標1,500頭に対して、実績は4,975頭であり、目標は達成できた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-2-③ 有害鳥獣対策の強化（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	(事業名) 有害鳥獣防除推進対策事業 【農林課】 (事業目的) 有害鳥獣から農作物被害をなくすため、侵入防止柵の普及を図る。 (事業概要) 有害鳥獣の侵入防止対策として、電気柵、ワイヤーメッシュ柵を設置する農家に対し、農地面積1,000㎡未満のものに1/2、1,000㎡以上ものに2/3の助成を行う。	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	電気柵等件数	
		目標値	72件	
		実績値	72件	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	2,661千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	電気柵等申請件数に対し、全ての申請者へ助成することを目標値としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 電気柵3件、ワイヤーメッシュ柵69件の設置へ対し助成を行い、侵入防止対策の推進を図った。 (成果・課題等) 捕獲事業と合せて実施しており、農作物の被害軽減が図られていることから、今後も必要である。	(取組実績) (成果・課題等)		

2-2-④ 畜産の振興

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 優良雌牛導入補助事業 【農林課】 (事業目的) 優良雌牛の導入を促進することにより、高価格の子牛生産を図る。 (事業概要) 長崎県家畜導入事業（農協等有導入事業）による優良雌牛の導入、また、優良雌牛の自家保留に対し助成することにより、経営の安定化を図る。	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	680千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・農協等有導入事業 : 3頭 600,000円 ・自家保留：2頭 80,000円 (成果・課題等) 自家保留・農協等有導入事業により、優良雌牛の導入がなされ、高価格の子牛の生産体制を構築できた。農家の繁殖雌牛の能力を向上させ、資質が高い子牛の生産を推進する。	(取組実績) (成果・課題等)		

2-2-④ 畜産の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) 流通対策補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 家畜市場等へ出荷する流通経費に対して助成を行うことにより、畜産農家の負担の軽減と購買者の定着等を図る。</p> <p>(事業概要) ・家畜市場等出荷牛及び死亡牛の輸送に要する運賃及び曳人の旅費の助成（助成額：定額） ・家畜市場で購買された町内産子牛の島外輸送経費の助成（助成額：1,500円/頭以内）</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数		
		目標値	371頭		
		実績値	62頭		
		達成率	16.7%		
		決算（見込）額	194千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	家畜市場等へ出荷する下記の流通経費に対して、194千円の補助を行った。・子牛31頭・成牛6頭・キャトル12頭・死亡牛1頭・家畜農家12人	
			(成果・課題等)	家畜農家の負担の軽減が図られた。今後も引き続き、家畜の島外輸送経費の助成を行うとともに、資質が高い牛の生産のため、防疫対策や優良雌牛導入などの事業と一体的に畜産の振興を図っていく。	
3	<p>(事業名) 子牛価格生産安定特別対策補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 子牛価格の下落による経営の急激な悪化の緩和、生産意欲の向上を図る。</p> <p>(事業概要) 子牛販売価格が雌34万円、去勢42万円を下回った場合、その差額を5万円を限度として助成する。但し、国の補給金が発動された場合はその額を控除する。 ※子牛の発育が良好で1日当り増体量が雌0.9kg、去勢1.0kg以上であること</p>	実施年度	平成21年度～		
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数		
		目標値	371頭		
		実績値	62頭		
		達成率	16.7%		
		決算（見込）額	0円		
		当該年度執行率	-		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	事業内容に該当する子牛取引価格の下落がなかったため、実績はなし。	
			(成果・課題等)	引き続き、子牛取引価格の下落時の助成体制を整え、万が一の自体から畜産農家の経営を守る。また、取引価格をより高価格にするため、資質が高い牛の生産に取り組んでいく。	

2-2-④ 畜産の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	<p>(事業名) 子牛生産奨励補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 繁殖雌牛から産出される子牛に対して助成を行い、生産率の向上を図る。</p> <p>(事業概要) 繁殖雌牛から産出される子牛に係る経費（5,000円/頭）に対し補助を行うことにより、生産率の向上及び経営の安定化を図る。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	225千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	子牛45頭分の補助を行った。	(取組実績)	
	(成果・課題等)	優良雌牛の導入促進などと一体的に、畜産振興に努める必要があり、今後も引き続き、繁殖雌牛から産出される子牛に係る経費に対して補助を行い、生産性の向上を図っていく。		
5	<p>(事業名) 共進会出品助成補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 共進会等出品への経費を助成することにより、出品牛の促進を図る。</p> <p>(事業概要) 共進会等出品への運賃及び出品者の旅費の助成（補助額：定額）</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	0円	
		当該年度執行率	-	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	出品牛がいなかったため、実績なし。	(取組実績)	
	(成果・課題等)	防疫対策や優良雌牛導入、家畜市場等出荷などへの支援を行うことにより、畜産農家の経営安定を図り、品質の高い出品牛を育てる環境づくりを支援する。また、県五島振興局やJA五島の協力をいただき、畜産指導を行い、生産技術の向上を図っていく。		

2-2-④ 畜産の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
6	<p>(事業名) 家畜共済加入奨励補助事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的) 家畜共済掛金の一部を助成することにより、畜産農家の共済制度への加入促進と負担軽減を図る。</p> <p>(事業概要) 共済掛金（家畜共済掛金の国庫補助残）の1/3以内を助成。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	187千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	11戸の家畜農家の内10戸の畜産農家に対し、家畜共済加入費用の一部として、187千円を助成した。	(取組実績)	
	(成果・課題等)	家畜の死亡などにより新たな家畜を導入しなければならなくなった際の導入経費等の負担を軽減できる共済制度であり、今後も加入促進に努める。	(成果・課題等)	
7	<p>(事業名) 家畜防疫対策補助事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的) 家畜の伝染性疾患の発生を防止することにより、畜産の振興を図る。</p> <p>(事業概要) 家畜（牛）の予防注射に対して助成を行い、家畜伝染性疾患の予防に努める。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	241千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	家畜の予防注射を行った8戸の農家に対して、241千円を助成した。・IBR（6混）41頭・イバラキ病11頭・異常産65頭	(取組実績)	
	(成果・課題等)	畜産の振興を図る上で、家畜伝染性疾患の予防は重要事項であり、今後も引き続き、家畜の予防注射に対して助成を行う。	(成果・課題等)	

2-2-④ 畜産の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
8	<p>(事業名) 町有家畜導入事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 高能力繁殖雌牛導入にかかる農家の初期費用を軽減し、付加価値の高い子牛の増産を促進する。</p> <p>(事業概要) 基金から繁殖雌牛を町が購入し、生産者に一定期間無償で貸し付けた後、譲渡する。 貸付期間 7年以内（育成牛 4～18か月齢） 6年以内（成牛 18か月齢～6歳） 譲渡価格 36万円（但し購入額が60万円を超えた場合は、その差額を加算）</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	家畜市場への子牛出荷頭数	
		目標値	371頭	
		実績値	62頭	
		達成率	16.7%	
		決算（見込）額	1,442千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、家畜市場への子牛出荷頭数を69頭（H26）から5年間で440頭にすることとしており、目標増加数を371頭としている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>1戸の農家に対して、町で購入した高能力繁殖雌牛2頭を貸し付けた。 高能力繁殖雌牛2頭購入費 1,442千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>引き続き、肉用牛資源の維持拡大により畜産経営の安定を図る。また、畜産業を目指す意欲ある人材の育成に努めていく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-2-⑤ 林業の環境整備と森林の保全

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 森林整備地域活動支援交付金事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 森林経営計画策定には多くの時間と労力が要するため、交付金として助成し、早期計画策定と間伐の実施につなげ、森林環境整備、間伐材の有効活用を目的としている。</p> <p>(事業概要) 町内の森林において、間伐等を実施するためには、森林経営計画を策定しなければならない。策定にあたり、該当森林の現地調査（林分、樹種、境界）を行い、個人所有者の同意等を得なければ森林経営計画の策定はできない。その現地調査や地区説明会その他関連する諸経費に対し、交付金として関係団体へ助成する。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	利用間伐面積	
		目標値	216ha	
		実績値	25.12ha	
		達成率	11.6%	
		決算（見込）額	3,049千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、利用間伐面積を9ha（H26）から5年間で225haにすることとしており、目標増加数を216haとしている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>地域活動の実施に関する森林整備地域活動実施協定を締結し地域活動を実施した者に対し、3,049千円の交付金を交付した。 積算基礎森林面積：五島森林組合91.57ha、長崎県林業公社10.00ha</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>森林所有者（不在村者）の確認・承諾に時間を要しているため、計画策定がスムーズに実施できない。効果的な森林整備箇所の調査を行いながら、森林整備を進めていく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

2-2-⑤ 林業の環境整備と森林の保全（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) ながさき森林づくり担い手対策補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 林業の担い手を確保するとともに、林業者の経営の安定を図る。</p> <p>(事業概要) 林業者に対して、福利厚生費（社会保険）の助成を行う。</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	利用間伐面積		
		目標値	216ha		
		実績値	25.12ha		
		達成率	11.6%		
		決算（見込）額	4,235千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、利用間伐面積を9ha（H26）から5年間で225haにすることとしており、目標増加数を216haとしている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	林業組織の育成をするため、林業従事者（担い手）の社会保険等の負担を助成した。 五島森林組合上五島支所11名	(取組実績)
			(成果・課題等)	技術をもった対象者数が高齢化しているため退職後の担い手不足が生じる恐れがある。新規の担い手は、林業技術取得に数年を要するため、早期の雇用と技術取得が必要である。	(成果・課題等)
3	<p>(事業名) つばき里山まつり補助事業 【農林課】</p> <p>(事業目的) 町のつばきを中心とする林業を体験させる「つばき里山まつり」を開催することによって、賑わい創造による地域間交流と林業振興による地域の活性化を図り、本町産業経済の発展に寄与するものとする。また、平成30年の全国椿サミットに向けてイベントとして行い全国椿サミットに向けて改善を図りながら町全体で取り組む。</p> <p>(事業概要) つばき里山まつりの開催（つばき里山まつり実行委員会補助金 1,056千円） ・ステージイベント、講演、体験、椿関連商品販売、五島うどん提供など</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	入場者数		
		目標値	1,000人		
		実績値	700人		
		達成率	70%		
		決算（見込）額	1,056千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	入場者目標を1,000人と設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	【ステージ】椿の育成についての講話・太鼓演奏・キッズダンス・書道パフォーマンスなど 【アリーナ】林業経営相談・ネイルアート体験・各種団体による椿関連商品の販売・俳句や短歌、絵画、写真の展示など 【屋外】シイタケ種駒打ち体験など	(取組実績)
			(成果・課題等)	来場者の滞留場所（場内での休憩場所）を作っていないかった。また、来場者が体調を崩した場合の連絡体制を構築できていなかった。	(成果・課題等)

2-2-⑤ 林業の環境整備と森林の保全（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	<p>(事業名)</p> <p>林業専用道上五島縦貫1号支線新設改良事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>本線は、三王山の中腹から山頂付近に至る林業専用道であり、既設道路を利用した改築区間L=1600m、新設区間L=1300mの総延長2900mである。計画地周辺は、町、寺社、個人所有の人工林・自然林であるが、手入れ不足等により荒廃森林が認められているため、今後、荒廃の拡大や土砂、倒木の流出により下流に被害を与えるおそれがある。そのため、林内路網の整備を促進することにより、森林整備の促進に資することで、荒廃森林の再生及び地域における間伐等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図ることを目的とした林業専用道の開設を行う。</p> <p>(事業概要)</p> <p>全体計画 L=2,900m W=3.5m ・改築区間…道路環境の改善 拡幅工事、側溝整備他をL=1,600mで計画している。 ・新設区間…L=1,300m W=3.5mで計画している。 全体計画事業費 C=182,800千円</p>	実施年度	平成27年度～平成31年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	22%	
		実績値	8%	
		達成率	36.4%	
		決算（見込）額	15,300（40,002）千円	
		当該年度執行率	38.2%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	L=1560m、W=3.5m 土工V=2405m ³ 、路盤工 A=3195.6m ² 、補強土壁工 A=282.3m ² 、排水施設工 L=151.2m		
	(成果・課題等)	丁張りを設置後に土地所有者と現地立会いを行った結果、林道敷き範囲（面積）に対し疑義があり説明、神社所有地であるため総会での承諾が必要となり不測の期間を要したため、H28へ繰越した。		
5	<p>(事業名)</p> <p>林道鬼ヶ原線改良事業</p> <p>【農林課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>本路線は、県道日島猿浦線と若松港臨港道路から西神ノ浦・大平地区へつながる唯一の道路であり、住民にとって生活道として利用されている重要な道路でもある。幅員が狭く離合もままならないため、車両交通の安全が確保できない状況である。このような状況を改善するため道路の改良事業を実施し、安全性の向上を図るものである。</p> <p>(事業概要)</p> <p>全体計画 L=9,000m W=3.6(4.0)m 全体計画事業費 C=360,000千円</p>	実施年度	平成19年度～平成36年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	52%	
		実績値	52%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	19,906千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	工事長 L=0.0(740.0)m 排水施設工 L=762.1m 舗装工 A=520.8m ² 防護施設工 L=190.0m 標識工 3基		
	(成果・課題等)	事業計画どおり進捗している。		